

午 前

問 題

◎ 指示があるまで開かないでください。

社会福祉概論

問題 1 社会福祉の基本的な概念に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ノーマライゼーションとは、障害者や高齢者などの支援を必要とする人々を訓練して、できるだけ援助なしに生活できるようにすることである。
- 2 ナショナル・ミニマムとは、国が社会保障その他の公共政策によって国民に保障する最低生活水準をいう。
- 3 リハビリテーションとは、障害者の生活や行動の妨げとなる物理的な障壁を取り除き、行動の自由を確保しようとすることである。
- 4 ワーク・シェアリングとは、仕事と生活のバランスのとれた人生を実現することにより、男女共同参画の促進を図るものである。
- 5 ジェンダーとは、男女の生物学的な差異に着目し、性別による区分のあり方を考えるものである。

問題 2 社会福祉におけるニーズに関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 福祉ニーズとは、公的なサービスで充足されるニーズである。
- 2 貨幣的ニーズとは、介護や保育などのサービスの給付で充足されるニーズである。
- 3 非貨幣的ニーズとは、生活保護のうちの金銭の給付で充足されるニーズである。
- 4 顕在的ニーズとは、その存在を本人が自覚しているニーズである。
- 5 潜在的ニーズとは、その存在が明らかになっているニーズである。

問題 3 日本における貧困者と生活保護に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ホームレスとは、就労しているにもかかわらず生活保護の最低生活費に満たない生活を営む人々である。
- 2 ワーキングプアとは、都市公園、河川、道路などの施設を起居の場として、日常生活を営んでいる者である。
- 3 生活保護の受給者数は、平成8年度以降、今日まで増加傾向にある。
- 4 生活保護の生活扶助では、廃止された老齢加算が平成21年度に復活した。
- 5 生活保護の実施機関は、市町村社会福祉協議会である。

問題 4 日本の社会保障・社会福祉の歴史に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「恤救規則」(明治 7 年)は、国家責任の理念に基づいた救貧対策である。
- 2 民生委員制度の前身は、大正期、泉橋慈善病院に配置された婦人相談員である。
- 3 「救護法」には、現在の日本国憲法第 25 条における生存権規定の根拠となった原理が示されている。
- 4 連合国軍総司令部 (GHQ) による「社会救済に関する覚書 (SCAPIN775)」昭和 21 年)では、「無差別平等」などの原則が示されている。
- 5 堀木訴訟は、生存権規定や生活保護基準のあり方に大きな影響を与え「人間裁判」と称された。

問題 5 日常生活自立支援事業に関する次の記述のうち、正しいもの一つを選びなさい。

- 1 生活支援員は課程裁判所が選任する。
- 2 家族がない場合は、市町村長が家庭裁判所への利用申立てを行うことができる。
- 3 本人に契約内容について判断できる能力がなくても、家族との契約により利用することができる。
- 4 利用者の財産処分や契約は、利用者に代わって生活支援員が行う。
- 5 実施主体は、都道府県社会福祉協議会又は指定都市社会福祉協議会である。

問題 6 社会福祉における利用者負担の考え方に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 利用者負担の導入の理由の一つに漏給^{ろうきゅう}の防止がある。
- 2 利用者負担の導入の意義として、限られた資源の効率的な配分や社会的な公正の確保がある。
- 3 応能負担とは、利用したサービスに応じて負担額を決定するものである。
- 4 応益負担とは、利用者の負担能力に応じて負担額を決定するものである。
- 5 児童福祉法の措置制度では応益負担の原則がとられている。

問題 7 国民年金の加入に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 国民年金加入者の国民年金基金への加入は任意である。
- 2 20歳前の障害で障害基礎年金を受給するには、20歳になる前から加入していなければならない。
- 3 20歳未満の者の加入は任意である。
- 4 20歳以上の学生の加入は任意である。
- 5 厚生年金加入者は、国民年金の加入者ではない。

問題 8 雇用保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 政府が管掌する制度である。
- 2 業種や雇用者数にかかわらず、全事業に強制適用される。
- 3 事業主が保険料を全額負担する。
- 4 家族を介護するための休業は、給付の対象とならない。
- 5 60歳以上の者は、給付の対象とはならない。

老人福祉論

問題 9 日本の人口や社会保障に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 合計特殊出生率とは、婚姻している女性が一生の間に産む子どもの数である。
- 2 生産年齢人口とは、15～64歳の人口である。
- 3 「人口推計（平成21年10月1日現在）」（総務省）によると、平成21年において、老年人口の割合が最も高い地域は沖縄県である。
- 4 団塊の世代とは、昭和25年から30年の間に生まれた世代である。
- 5 租税と社会保障負過を合わせた国民負担率は、主要先進国の中で高い水準にある。

問題 10 高齢者の家族介護者に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「高齢者の虐待に関する調査結果」によると、家族等による高齢者虐待は、「身体的虐待」が最も多い。
- 2 「高齢者の虐待に関する調査結果」によると、家族等による高齢者虐待で、被虐待者から見た続柄では、「夫」、「息子」、「娘」の順に多い。
- 3 地域包括支援センターは家族介護者への支援事業を実施しなければならない。
- 4 居宅介護支援における継続的モニタリングは、家族介護者が行う。
- 5 「国民生活基礎調査」（厚生労働省）によると、同居している主な介護者のうち男性介護者の割合は、平成16年に対し平成19年は減少した。

(注) 「高齢者の虐待に関する調査結果」とは、「平成20年度 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果」（厚生労働省）のことである。

問題 11 「高齢者の居住の安定確保に関する法律」に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 高齢者円滑入居賃貸住宅は、市町村に登録される。
- 2 高齢者が病気等で入院し家賃の支払が滞った場合、家主に対して家賃を保証する制度がない。
- 3 基本方針に、賃貸住宅等の整備と保健医療サービス及び福祉サービスを提供する体制の確保について述べられている。
- 4 高齢者専用賃貸住宅は、有料老人ホーム協会に届け出が必要である。
- 5 軽費老人ホームは、高齢者円滑入居賃貸住宅の指定を受けることができる。

問題 12 介護保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 被保険者になるためには、年齢に関係なく医療保険に加入していることが必要である。
- 2 被保険者であれば、要介護状態の原因にかかわらず、介護給付を受けることができる。
- 3 同一の被保険者が、施設サービスと介護予防サービスを同時に受けることができる。
- 4 介護費用の利用者負担額は、利用者の所得に応じて決定される。
- 5 介護保険施設の食費及び居住に要した費用については、所得の状況、その他の事情を考慮して給付が行われる。

問題 13 介護保険制度における地域密着型サービスに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 利用できるのは、事業所を指定した市町村の被保険者である。
- 2 日常生活圏域で展開される居宅サービスのことである。
- 3 夜間対応型訪問介護は、24時間訪問介護を提供するサービスである。
- 4 通所介護事業所のうち、一定規模以下のものが地域密着型通所介護として、指定される。
- 5 認知症対応型共同生活介護は、地域密着型サービスに含まれない。

問題 14 介護保険制度における小規模多機能型居宅介護に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 長期間の宿泊を事業の内容としている。
- 2 居宅介護支援事業者が作成する居宅サービス計画に基づき、利用する。
- 3 他の事業所の訪問介護を、あわせて利用できる。
- 4 介護報酬は、月単位の定額である。
- 5 事業者の指定は、都道府県知事が行う。

問題 15 地域包括支援センターに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 各市町村に、1か所ずつ置かれることとされている。
- 2 介護予防サービスを提供しなければならない。
- 3 居宅介護支援、介護予防支援の指定事業者となることとされている。
- 4 保健・医療・福祉の総合的な情報提供及び地域における関連機関のネットワークの拠点となる。
- 5 保健師、介護福祉士、主任介護支援専門員を、専門職種として置くことになっている。

問題 16 公的医療保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 管理・運営は、国、市町村、及び一部の民間生命保険会社が行う。
- 2 70歳以上で現役並みの所得がある者の医療費の本人負担は、3割となる。
- 3 最も加入者が多いのは、組合管掌健康保険である。
- 4 平成19年度の一人当たり医療費は、約10万円である。
- 5 患者が医療機関に払う一部負担を、診療報酬という。

問題 17 高齢者の生活に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「高齢社会白書（平成21年版）」（内閣府）によれば、高齢者のグループ活動への参加状況は低下しつつある。
- 2 「平成21年中における自殺の概要資料」（警察庁）によれば、60歳代の自殺の男女比では女性が多い。
- 3 「平成17年国勢調査」（総務省）によれば、高齢親族のいる一般世帯の割合は、首都圏や近畿圏で高くなっている。
- 4 「平成17年国勢調査」（総務省）によれば、一人暮らし高齢者の男女比では、男性の比率が高い。
- 5 「福祉行政報告例」によれば、世帯類型別の被保護世帯数は、高齢者世帯が最も多い。

（注）「福祉行政報告例」とは、「平成20年度社会福祉行政業務報告（福祉行政報告例）」（厚生労働省）のことである。

問題 18 医療にかかわる専門職の業務に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 看護師は、療養上の世話又は診療の補助を行う。
- 2 薬剤師は、薬剤の処方を行う。
- 3 作業療法士は、主として基本的動作能力の回復を目指す。
- 4 管理栄養士は、調理技術の合理的な発達を図る。
- 5 柔道整復師は、消炎鎮痛剤などの薬剤の投与を行う。

障害者福祉論

問題 19 身体障害者手帳の交付の対象として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 じん臓機能障害
- 2 嗅覚機能障害
- 3 食道機能障害
- 4 甲状腺機能障害
- 5 膵臓機能障害

問題 20 障害者の権利保障の歴史に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「障害者の権利宣言」は1960年の国連総会において採択された。
- 2 アジア太平洋地域では、「国連・障害者の十年」と並行して、「アジア太平洋障害者の十年」を推進した。
- 3 「国連・障害者の十年」の終了後、国連総会において「障害者の機会均等化に関する標準規則」が採択された。
- 4 「国際障害者年」を契機に、日本では「パラリンピック」(国際身体障害者スポーツ大会)を開催した。
- 5 「障害者の権利に関する条約」に、日本は署名をしていない。

問題 21 今後の障害者福祉施策の基本的な方向性として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 市町村による障害者のための施策に関する基本的な計画策定
- 2 ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health; 国際生活機能分類) の活用
- 3 啓発・広報活動の推進
- 4 相談支援体制の充実
- 5 施設入所の推進

問題 22 障害者自立支援法に定める補装具として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 シャワーチェア
- 2 車いす
- 3 特殊寝台
- 4 便器
- 5 褥瘡^{じよくそう}予防マット

リハビリテーション論

問題 23 身体障害に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 胸髄損傷 (thoracic cord injury) は四肢麻痺を伴う。
- 2 頸髄損傷 (cervical cord injury) は膀胱直腸障害を伴う。
- 3 脳性麻痺 (cerebral palsy) は運動障害を伴う。
- 4 一定程度以上の視野狭窄は視覚障害に含まれる。
- 5 二分脊椎 (spina bifida) は肢体不自由の原因となる。

問題 24 関節リウマチ (rheumatoid arthritis) とリハビリテーションに関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 関節痛は単一の関節に起きる。
- 2 関節のこわばりは夕方に強い。
- 3 日常生活指導では、関節の保護を重視する。
- 4 物を持つときは、手・指などの小さな関節を活用する。
- 5 男性に多い疾患である。

問題 25 精神障害者のリハビリテーションに関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 薬物乱用者は対象となる。
- 2 急性期の精神障害者を主な対象とする。
- 3 作業療法は有効である。
- 4 集団精神療法は有効である。
- 5 デイケアへの参加は有効である。

問題 26 リハビリテーションにおけるチームアプローチに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 それぞれの職種が専門性を発揮する。
- 2 他の専門職の業務を理解する。
- 3 障害に対する共通理解を持つ。
- 4 各専門職のアプローチを医師が決定する。
- 5 計画についての共通理解を持つ。

社会福祉援助技術（演習を含む。）

問題 27 社会福祉援助における連携に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 連携とは、社会福祉の専門職種間の連携のことである。
- 2 介護福祉士は、福祉サービス関係者等との連携を保つことが法律で義務とされている。
- 3 連携とは、利用者に対して各専門職が独自の目標や方針によってサービスを提供することである。
- 4 連携は、在宅で生活している利用者を支援する場合に限られたものである。
- 5 情報の共有は、連携する上で、プライバシーの保護よりも優先される。

問題 28 社会福祉援助に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 社会資源とは、人、物、資金、情報、法制度、諸サービス等の総称である。
- 2 援助者のソーシャルアクションは禁止されている。
- 3 自己覚知とは、自身の置かれている現状を利用者に自覚させることである。
- 4 逆転移は、信頼関係を形成する上で有用である。
- 5 援助者が利用者本人に代わって生活問題を解決する。

問題 29 個別援助の過程に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 インテークでは、援助者は一方的に質問する。
- 2 アセスメントは、援助者の価値観によって行われる。
- 3 援助計画は、援助者が利用者の参加を求めずに作成する。
- 4 終結は、援助者側が判断する。
- 5 援助者は、援助過程についての振り返りが必要である。

問題 30 住民の地域福祉活動への直接参加を進める方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 県域を単位にしたコミュニティづくりを進める。
- 2 高齢者世帯への訪問介護員による訪問活動を組織化する。
- 3 地域住民が主体となって「ふれあいサロン」づくりを進める。
- 4 民生委員が行政に対して「会食サービス」の実施を要請する。
- 5 行政が住民を組織して、国民年金の保険料の納入推進を図る。

問題 31 社会福祉の実践におけるスーパービジョンに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 スーパーバイザー同士が責任をもって相互に援助者としての訓練を行うことである。
- 2 スーパービジョンは事例研究のために開発された方法である。
- 3 スーパービジョンはスーパーバイザーの経験を伝えることで成立する。
- 4 スーパービジョンには教育的機能、管理的機能、援助的（支持的）機能がある。
- 5 個人へのスーパービジョンはカウンセリングと呼ばれている。

(社会福祉援助技術 (演習を含む。)・事例問題)

次の事例を読んで、問題 32 から問題 34 までについて答えなさい。

〔事例〕

軽度の知的障害のある E さん (50 歳, 男性) は, 高齢の母親 (84 歳) と生活していた。母親が肝がん (liver cancer) のため入院治療となったことで, 相談支援事業所へ相談, 障害者自立支援法での居宅介護 (週 4 回) を受けることになり, M 居宅介護従業者 (以下, M 従業者という。) が担当することになった。また, それ以外の E さんの日常生活は近くに住む叔母 (76 歳) が支えていた。

問題 32 E さんへの初回訪問における M 従業者の対応として, 適切なものを一つ選びなさい。

- 1 親しみを感じさせるために名前をチャン付けで呼ぶように心がける。
- 2 E さんを知っている相談支援専門員と同行する。
- 3 E さんへの援助内容は, 入院中の母親の意思に従うこととする。
- 4 E さんの生活歴については, M 従業者が直接福祉事務所へ照会する。
- 5 E さんを気遣って, E さんから支援に必要な情報を聴かないようにする。

問題 33 支援当初, M 従業者は E さんとのコミュニケーションもうまく取れず悩むことも多かったが, その後徐々に意思疎通もでき, E さんの日常生活能力なども理解できるまでになった。ところが先月母親が死亡。E さんは精神的に落ち込み, 生活リズムも乱れ, 食欲も低下し, 家に閉じこもることが多くなった。このような E さんへの M 従業者の対応として, 最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 心配しなくても大丈夫と元気づける。
- 2 まずは食事をするように促す。
- 3 相談支援事業所へ施設利用を促す依頼の電話をする。
- 4 本人の表情や言動などは気にせず, 家事援助に専念する。
- 5 E さんの心身と生活の状態について, 本人や叔母から確認する。

問題 34 その後 E さんは落ち着きを取り戻してきたので、E さんの今後について、E さんを交えての相談支援事業所によるケアカンファレンスが開かれることになり、担当の M 従業者も出席を要請された。しかし、E さんは、ケアカンファレンスへの参加に迷っている様子である。ケアカンファレンスにおける M 従業者の対応として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 E さんが参加を迷っているので、M 従業者は出席しない。
- 2 発言はサービス提供責任者に任せる。
- 3 ケアカンファレンスに記録をすべて提出する。
- 4 E さんへ M 従業者も参加することを伝え、出席をするよう誘う。
- 5 E さんの参加については、叔母には相談しない。

レクリエーション活動援助法

問題 35 レクリエーションの概念に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「生活のレクリエーション化」とは、主体的な余暇活動の実践のことである。
- 2 レクリエーションとは、グループで実施するゲーム、ソング、ダンスのことである。
- 3 レクリエーションとリハビリテーションの語源は同じで、共に機能回復を意味する。
- 4 「レクリエーションの生活化」とは、衣食住の生活に快い環境をつくり出すことである。
- 5 レクリエーションとは、楽しみを基盤とする人間性の回復・再創造のことである。

問題 36 グループを対象とするレクリエーション活動援助の留意点に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 メンバーの緊張を取り除き、楽しい雰囲気をつくる。
- 2 メンバー同士の働きかけやふれあいを促進する。
- 3 メンバーの仲間意識が形成されるようにする。
- 4 メンバー全員を最後まで参加させる。
- 5 メンバーに合わせてオープングループ、クローズドグループをつくる。

問題 37 レクリエーション活動援助における活動課題の難易度に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 難易度は高い方が楽しめる。
- 2 利用者の活動能力に合わせて難易度を設定する。
- 3 グループ活動の場合は、活動能力の低い人に合わせる。
- 4 認知症高齢者の場合は、難易度を一律に低くする。
- 5 活動能力が低い人の難易度は高くする。

(レクリエーション活動援助法・事例問題)

次の事例を読んで、問題 38 から問題 40 までについて答えなさい。

〔事例〕

介護老人福祉施設で暮らす F さん（88 歳，男性）は，1 年前に脳梗塞（cerebral infarction）を患い，軽度の右片麻痺があるが週に 1 回書道を楽しんでいる。この書道サークルは，地域ボランティアの手伝いによって運営されており，F さんとボランティアとの関係も良好である。F さんは暇を見つけては同室の G さんに書道を勧めていたが，G さんは乗り気ではない。F さんの性格は職人気質（ルビ：かたぎ）であり，書道に関しては自分流のやり方にこだわりがある。過去には書道教室の先生をしており，また個展を開いた経験もある。

最近，認知症（dementia）の症状が現れ，部屋に閉じこもるようになり，活動に参加しても時折，半紙の前で動きが止まり，いらいらするようになった。

問題 38 F さんへのレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち，最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 書道以外のレクリエーション財を勧めた。
- 2 利き手である右手のリハビリに専念するように勧めた。
- 3 G さんと一緒に書道に参加するように勧めた。
- 4 ボランティアに対して F さんの生活全般の援助を依頼した。
- 5 F さんの書道に対する思いを聴いた。

問題 39 認知症の症状が出てきた F さんに対するレクリエーション活動援助として，最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 書道に関する思い出話をしながら，書道の援助を行う。
- 2 手の動きが止まったら，墨が乾く前に書くように声をかける。
- 3 活動中に席を離れたら，すぐ活動に戻るよう促す。
- 4 他の利用者と同じ墨や半紙を用意する。
- 5 書道よりも脳に刺激のあるゲームを勧める。

問題 40 書道サークルの運営に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ボランティアが書道サークルの運営を主導する。
- 2 ボランティアが急に休んだ場合、その週の活動を中止する。
- 3 ボランティアの協力を得て、地域の書道展に出展する。
- 4 ボランティアが地域の書道教室への参加を決める。
- 5 ボランティアの人数が減ったので、別の活動に変える。

老人・障害者の心理

問題 41 記憶に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 エピソード記憶は、自分に起こった出来事や体験に関する記憶である。
- 2 短期記憶は、一定の時間的経過の後にも想起することができる記憶である。
- 3 意味記憶は、少ない容量の情報を一時的に保持する記憶である。
- 4 手続き記憶は、一般的な知識や概念に関する言葉の記憶である。
- 5 非陳述記憶は、人間の五感により知覚された記憶である。

問題 42 認知症高齢者の心理と対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 記憶力の低下は、行動や心理に影響を与えない。
- 2 人との交流ができなくなるので、社会的な役割を持つことは避ける。
- 3 それまでの暮らし方は心理に影響を与えない。
- 4 出来事全体の記憶力が低下しやすい。
- 5 施設に入所する場合、それまで使用していたものは持ち込まない。

問題 43 視覚障害者の心理と対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 中途失明者は、残存感覚に対する自信を失う。
- 2 援助者が安全を確認した上で誘導する場合には、多少強引に手を引いてもよい。
- 3 高齢期に失明しても、大半の人は訓練で単独行動ができるようになる。
- 4 視覚障害者は音声言語が使えるので、相手との会話には不自由しない。
- 5 視覚障害者が援助者との会話中に録音を希望するのは、信頼関係ができていないためである。

問題 44 先天性聴覚障害に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 手話は唯一のコミュニケーション手段である。
- 2 聴能訓練とは、構音指導や文章の読解力の向上のための訓練のことである。
- 3 言語発達に遅れが生じる。
- 4 成長とともに視力が聴力の代償となり、視力の機能が高まる。
- 5 耳元に口を寄せて大声で話をすれば会話ができる。

問題 45 アスペルガー症候群 (Asperger's syndrome) の特徴として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 行動が常同的反復的である。
- 2 認知の発達に遅れがない。
- 3 男児に多い。
- 4 青年期から成人期へと症状は持続する傾向が強い。
- 5 読み書き計算が苦手である。

問題 46 精神障害者への心理的な支援に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ピアカウンセリングでは、心理専門職がカウンセリングを行う。
- 2 アセスメントでは、複数の心理検査を組み合わせることが望ましい。
- 3 面接における転移とは、日常生活の問題を心に閉じ込めて表現できない状態を指す。
- 4 系統的脱感作法では、観察学習を重視する。
- 5 社会生活技能訓練では、家族の感情表出への教育的介入が行われる。

問題 47 高齢者への心理的虐待ぎゃくたいに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 虐待は、家族や介護者によってなされることが多い。
- 2 高齢者本人の財産を不当に処分する行為は、心理的虐待に含まれる。
- 3 虐待には、高齢者の障害の状況や心理状態に対する介護者の理解不足が関係する。
- 4 介護者の負担を周囲の者が認め、心労を軽くすることが虐待の予防につながる。
- 5 高齢者と介護者を社会から孤立させないために、周囲の人々が連携する。

問題 48 回想法の特徴として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 過去のことを取り上げるだけでなく、将来につなげる目的がある。
- 2 話したくないことは無理に引き出さない。
- 3 言葉だけでなく、写真や絵などの視覚的な刺激を用いる。
- 4 時間の見当識を高めるために、日付や曜日を確認する。
- 5 人生の節目の出来事を振り返ることにより生じる感情に注目する。

家政学概論

問題 49 非消費支出として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 国民健康保険料
- 2 介護保険の利用者負担
- 3 食料費
- 4 家賃
- 5 借金の返済金

問題 50 たんぱく質に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 たんぱく質は、身体の構成成分の約 60%を占める。
- 2 たんぱく質は、1gにつき約 9kcal のエネルギーを発生する。
- 3 たんぱく質が不足すると、免疫力が低下する。
- 4 血中アルブミン量が低いとき、その人の栄養状態は良い。
- 5 植物性たんぱく質は、動物性たんぱく質よりアミノ酸価が高い。

問題 51 鶏卵の鮮度低下に伴う変化に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 割ったとき卵黄の盛り上がりがより球に近くなる。
- 2 濃厚卵白の割合が減る。
- 3 卵黄膜の強度は変化しない。
- 4 気室が小さくなる。
- 5 卵黄の表面が暗緑色になる。

問題 52 かゆに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 出来上がり量に対する米の割合は、七分がゆよりも三分がゆの方が多い。
- 2 かゆは、加熱中によく混ぜることで粘りの弱い粒状になる。
- 3 五分がゆは、米と水を同量で炊く。
- 4 おもゆは、かゆから飯粒を取り除いた汁のことである。
- 5 全がゆは、汁の中に飯粒が少量混ざったものである。

問題 53 食材の下処理に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 昆布の表面の白い粉は、洗い流してから使用する。
- 2 肉はしょうが汁に漬けると、臭みが強くなる。
- 3 ムニエルの魚は小麦粉をまぶすことで、旨味成分の流出が抑えられる。
- 4 さつまいもの芽にはソラニンが多いので、取り除く。
- 5 青葉を色よくゆでるには、食酢を入れた沸騰水でゆでる。

問題 54 嚥下機能の低下した人の食事に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 おかずは細かく刻む。
- 2 料理の温度は体温程度にする。
- 3 ご飯はお茶漬けにする。
- 4 みそ汁の具はわかめにする。
- 5 果汁はゼリー状にする。

問題 55 化学繊維に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 アクリルは毛玉ができやすい。
- 2 ナイロンは熱に強い。
- 3 レーヨンには水に強い。
- 4 ポリエステルは吸湿性が良い。
- 5 ビニロンは弾性に富む。

問題 56 住居の安全性に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 家庭における不慮の事故で亡くなる高齢者数は、交通事故で亡くなる高齢者数より少ない。
- 2 高齢者の家庭における不慮の事故死因で一番多いものは、「転倒・転落」である。
- 3 入浴中の事故死は、冬季よりも夏季に多い。
- 4 住宅では、既存、新築とも住宅用火災警報器の設置が義務づけられていない。
- 5 在宅酸素療法の機器は、火気との距離を 2～3m 以上離して使用する。